



HP: <http://rakuno.org/>

風声雪語 —野幌だより—

酪農学園同窓会ニュースレター

高校・短大・大学 同窓生関連の最近の話題

北海道第二地区日高第二支部総会報告

トピック

HPの更新状況から

○高等学校関連

- 11.05 高校22年度卒クラス会
- 11.15 機農高10期同期会
- 11.20 関東高校合同同窓会
- 12.03 第2期生同窓会
- 12.11 機農高41卒同期会

○短期大学関連

- 11.19 野田画伯都展鑑賞会

○大学関連

- 11.05 大学ツングエルOB会
- 11.13 酪小獣中国セミナー

○地区支部同窓会関連

- 11.19 道南地区会
- 11.26 宗谷支部総会
- 12.17 香川県支部総会
- 12.17 日高第二支部総会

12月17日(土)午後6時から新ひだか町静内の「つぼ八静内店」を会場にして、第2回となる日高第二支部総会が開催された。総会には22名の同窓生会員と学園から仙北富志和学園長、後援会から永田常務、同窓会から浦川が出席した。会の冒頭、下川孝志支部長が歓迎のご挨拶を述べた。

来賓挨拶では仙北学園長は学園の近況報告として10月24日朝日新聞に掲載された本学学生を紹介し、学生募集への協力をあおいだ。

総会は峰村良和事務局長の司会、下川支部長を議長に進行し、議事1. 2015年度の事業報告並びに、決算報告・監査報告では事務局から報告に続き、監査代行の西村和夫氏から監査報告が行なわれた。次に議事2. として2016年度の事業計画並びに収支予算案が提案され拍手で承認された。議事3. として役員改選(追加変更)として原案が提案され、承認された。監査に静内農業校長の人事異動により二木浩志氏が



ら大関俊郎氏に変更となった。次に同会場において懇親会が開催された。

乾杯を兼ねたご挨拶では永田常務から、「佐藤貢氏の生涯」の著書紹介とともに日頃のお礼と後援会の概要について報告いただき、乾杯のご発声とともに懇親会に入った。その後、出席者全員からの自己紹介や近況報告のスピーチがあり、和気藹々とした中で懇談が続けられた。最後は植村好美氏の一本締めで閉会となった。

酪農学園同窓会の現況 (卒業生数)

目次:

最近の話題	1
同窓会現況	1
地区支部同窓会	2
同期会OB会	3
報告等	4
編集後記	4

2015年度 累計卒業生数

大学院 計	1,559名
大学 計	28,685名
短大 計	9,487名
高校 計	19,509名
合計 計	59,240名
酪農義塾 計	303名
酪農学校 計	
	92,000名
総合計	
	151,543名

地区支部の設置状況 () は未設置

北海道1区:石狩	3支部(1)(江別)
北海道2区:道央	6支部(2)(空知1)(胆振2)
北海道3区:道南	5支部(2)(後志1)(後志2)
北海道4区:道北	6支部(1)(留萌1)
北海道5区:道東	6支部(0) 26支部(6)
東北地区 :	6支部(0)
関東甲信越地区:	10支部(0)
中部地区:	7支部(0)
近畿地区:	6支部(0)
中国地区:	5支部(1)(島根)
四国地区:	4支部(0)

地区支部同窓会 紹介コーナー

東北地区福島県支部総会報告



11月5日(土)午後3時から郡山市「だいこんの花」において福島県酪農学園同窓会第11期通常総会を出席者総数23名で開催いたしました。学園からは竹花一成大学学長、菅野美樹夫獣医学助手、同窓会からは加藤清雄本部副会長が出席されました。

総会は事務局の司会で進行し、飯塚尚峯福島県酪農学園同窓会会長挨拶の後、会長が議長席につき、議事に入りました。第1号議案の第11期事業報告、収支決算報告、会計監査報告。第2号議案の第12期事業計画、収支予算案。

第3号議案の規約改定案。以上原案の通り承認されました。総会終了後の講演会では竹花一成学長から「酪農学園の現状と未来創造」と題し丁寧わかりやすくご講演頂きました。引き続き加藤清雄副会長から同窓会の近況と今後一層の連携強化等の要請がありました。

総会、講演会に引続いて親睦会に入り卒業年度順に自己紹介(近況報告)が行なわれ、大いに親睦を深める事が出来ました。(文責 事務局長 蛇石祐三)

北海道第3地区(道南)地区会報告



11月19日(土)11時から八雲町駅前の「まるみ食堂」を会場に、「道南地区会」が開催され、15名の同窓生が参加した。今回の地区会には都合がつかず同窓会本部からは出席出来なかった。

会長挨拶では都築信夫会長から11月4日に開催された本学主催の「酪農公開講座」時の「渡島第二支部同窓会」について28名が参加したことが報告された。次に参加者から近況報告を含めた自己紹介等が行なわれた。事務局より各支部状況について2010年現在の合計数等が述べられた。総会では規約の検討、会計報告も行なわれた。

恒例の報告・発表では「フィリピンの報告」を西川求さんが行なった。面積、島の数、人口等日本に似ている環境があり、植民地の歴史や産業、教育状況等含めてご報告いただいた。

関東甲信越越高校合同同窓会報告



高等学校関東甲信越地区合同同窓会が11月20日の日曜日に酪農学園東京オフィスで開催されました。毎年行われている同窓会で今回が15回目の開催となり、来賓として高校からは栄忍校長と真田昭好副校長・酪農学園同窓会副会長(とわの森三愛高校同窓会長)浅野政輝様・酪農学園同窓会関東甲信越会長の岡田勉様・同じく東京オフィス所長の高澤靖様を迎え18名の同窓生と23名の出席で、和気あいあいの楽しい合同同窓会となりました。

今年は初めての試みで1時からご来賓のご挨拶と学校の現状報告、同窓生の自己紹介、記念撮影を行い、2時からは同会館最上階にあるスカイラウンジに場所を変えての懇親会としました。三愛女子高卒業の女性3人を交え、懐かしい話や初めて聞く話、学校の近況報告やらと話が尽きる事無く1時から5時までの4時間はあっという間に過ぎてしまいました。

やさしい先輩や後輩や同じ釜の飯を食った仲間達に助けられ楽しい時を過ごすことが出来ました。今年も220通の案内を出しましたが参加は昨年を下回る結果でした。

(文責 発起人代表 半沢 司)

中国地区鳥取県支部総会報告



27日(日)、午後7時から、第3回を数える鳥取県総会が、倉吉駅近くの「太平門倉吉店」を会場として16名の出席により開始されました。会は門脇文生事務局長の司会で進行し、石賀隆好支部長の歓迎の挨拶で開会しました。

議長選任では会則により石賀支部長が議長となり、議事を進行し、第1号議案として平成27年度事業報告及び会計報告について、事務局から資料に基づき説明し、拍手で承認されました。第2号議案として平成28年度事業計画が報告され、同様に承認されました。

第3号議案として役員改選案が提案され、支部長に門脇文生氏、事務局長には田中久美子氏が新たに選任されました。副会長2名は再選され、石賀支部長は監査に就任し、総会議事を終了しました。

同期会OB会紹介コーナー

獣医学科28期生同期会報告



急に冷え込みだした10月22日(土)、札幌市内のホテルにて獣医学科28期生20周年同窓会が開催されました。参加者は、総勢73名と大変賑やかな会となりました。このうち、OBの先生としまして種池哲朗先生と加藤清雄先生が参加してくださいました。

また現役の先生として現学長の竹花一成先生をはじめ、中出哲也先生、山下和人先生、樋口豪紀先生の4名もの先生が参加くださいました。28期生は急遽の欠席もありましたが、最終的に67名(数名の子供さん含)が出席してくれ、同期生全体の約40%の参加率となりました。

会の冒頭では、去る8月2日にご逝去なされました酪農学園大学名誉教授阿部光雄先生(満85歳)への黙祷を行いました。阿部先生からは、直筆で欠席のご返事をいただいております。実はそのお返事は、消印が入院される2日前だったので、おそらく体調が良くないにもかかわらず、我々教え子のことを思い返信いただいたはずであり、その事に一同感動致しました。ここで少ししみりしてしまいましたが、種池先生の素晴らしい乾杯の音頭のおかげで会は和やかにスタートいたしました。

会の開催中は、幹事の御家瀬君が作ってくれた同期生の学生時代を中心としたスライドショーを上映しました。旧友達は、時折その画像に目を止めながら昔話に花を咲かせました。出席者の中には、卒業以来の人、10周年同窓会ぶりの人、つい最近の学会で一緒だった人など各々の時間を過ごしてきたはずなのですが、再開して5分も経たないうちにその時間達は同期され止め処のない会話が盛り上がりました。やはり、6年間の学生生活で培われた絆の力には驚かされました！卒業して20年経ち、各々の人生を送って来ましたがこうしてみんなで集まったことの幸せを感じました。こうして楽しい時間はあっという間に過ぎました。

1次会の最後は、加藤先生の音頭で酪農賛歌を歌い、締めとして竹花先生に3本締めを仕切っていただき無事終宴を迎えました。その後2次会を同ホテル内で催したのですが、やはり皆話し足りなかったようで51名もの同期生と竹花先生、山下先生が参加して下さり、更に大盛り上がりとなりました。



機農高校農業科10期生同期会報告



卒業してから今年で62年が過ぎた。年齢も何時しか80歳を過ぎたお爺さん「お辞儀して共によろける同期会」一昨年から毎年開催しようと言いだし、今年で3年目になるが、年々参加者の人数が4~5名ずつ減って、今回の参加者は10名になった。そればかりではない、宴会そのものが今迄と異なり全般にトーンダウンしている。

しかし、我が母校、酪農学園の今昔論議になると、いつしか重厚さが増し、当時の教育が夫々の歩んできた礎となっている「三愛の精神=愛神・愛人・愛土」を建学の精神とし「健土健民」を理念とした「実学教育」の必要性を再認識するものであった。これは単なる言葉だけでなく魂が宿っている。と現教育の在り方にも波及しチクリ……

肝心の次回開催については、これ以上参加人員が減るようではの意見が大勢を占め、未定とし暫し状況を見ることとし散会した。(文責 代表幹事 紺野勝蔵)

機農高校酪農経営科1期生同期会報告



12月11日(日)15時~12日(月)9時30分まで札幌第一ホテル(札幌市中央区南7条西1丁目)を会場にして12名(雪のため遅刻者2名あり)により開催された。

41年卒業の機農高校酪農経営科第一期の道内卒業生同期会は十勝支部(近年は旭川支部と合流)、札幌支部の2支部である。札幌支部は、1年半ぶりの開催であった。前日から記録的な大雪にもかかわらず、伊達や真狩からの参加者を加え12名の同期会となった。

卒業後およそ50年を迎え、農業、酪農を経営している方が比較的時間の取れる時期に同期会を開き、懇親を深めた。酪農学園概要のパンフレットをいただき懐かしく寮生活や恩師・仲間の思い出を語り合った。

一人ひとりから近況報告、特に、和牛経営の実践や農協活動の苦労話と離農、後継者問題など話は尽きなかった。また、70歳を迎え健康問題が話題となり、前回の同期会で片田氏から「黒ニンニク」の作り方や体に良いとの実体験があったので。その後、4人の方が実際に取り組んでいるとの報告などで大変盛り上がった。次回の再開を確認して散会した。

〒069-8501

北海道江別市文京台緑町582

酪農学園同窓会

電話 011(386)1196

FAX 011(386)5987

Email: rg-dosok@rakuno.ac.jp.



酪農学園同窓会は卒業生を応援します



○熊本・大分地震義援募金結果について

熊本・大分地震で被災した酪農学園同窓会会員へのお見舞いの目的で7月1日～8月31日の期間に実施した募金総額は765,984円でした。
ご協力いただいた全国の同窓生に紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。
なお、義援募金は11月13日の熊本県支部総会においてお見舞金としてお渡しされました。

大学・短大ワンダーフォーゲル部OB/OG会報告



去る11月5日(土)、定山溪ホテルに全国からOB・OG21名、顧問1名、現役部員5名が参集し、第2回総会が開催されました。

総会では、高澤副会長より開会の挨拶があり、その後審議に入りました。役員改選、新入会員、決算報告、予算案、会則改正について審議が行われました。最後に未入会OBの名簿の扱いについて、建設的な意見交換が行われました。

2年毎に開催される総会は、2回目となり、今後、永続的に進む道が根付いたように思われます。

懇親会では参加者の個性あふれる近況報告に様々な職種での活躍ぶりがうかがえました。話が尽きない中も時間は過ぎていき、あっという間に2次会、3次会へと流れていきました。伝統の飲み会の様相となり、最後は肩を組んでの部歌唱和となりました。

楽しく盛大に、総会・懇親会を終えました。2年後も元気に再開することを約束して、解散となりました。(文責 森下亮太郎)

今後の主なスケジュール (HP参照)

- 1月
11日(水) 緑風会総会・懇親会(札幌)
14日15日 大学入試センター試験日
21日(土) 高校推薦入試日
21日(土) 道東地区十勝支部総会(帯広)
28日(土) 九州地区沖縄県支部総会(豊見城)
- 2月
4日5日 大学第一期学力入学試験日
5日(日) 関東甲信越地区茨城県支部総会(つくば市)
10日(金) 北海道1区千歳支部総会(千歳市)
11日(土) 九州地区大分県支部総会(大分市)
17日18日 高校一般入試日
18日(土) 北海道5区根室支部総会(中標津町)
- 3月
4日(土) 大学第二期学力入学試験日
4日(土) 高校卒業証書授与式
17日(金) 大学卒業式・学位記授与式

あ と が き

皆様にとって昨年はどうな年だったのでしょうか?

国内では熊本地震や台風等の自然災害の到来。国外ではリオ五輪開催や米大統領選挙、お隣の弾劾裁判等々

先ごろ、道央地区日高第二支部で第二回の総会が開催されました。下川支部長さんが地域で面識はあったが同窓とは知らなかった方がいたという話をしてくれました。

酪農学園のOBは「点で」はなく、職域等の「面」で存在します。農業高校教員、JA職員、共済の獣医師、農業自営者等々。全国津々浦々まで広がる人的ネットワークを一人でも多く繋げていきたいものです。

これから同窓会は地区支部のネットワークを活用して地域貢献や社会貢献を進めていきたいと思っています。そのことが間接的に母校支援に繋がると考えております。

2017年が皆様にとって良い年でありますようお願い申し上げます。